

2011年度第4回

日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会・議事録

日時:2011年 12月 14日水曜日 18:30-20:30

場所:日本社会事業大学文京キャンパス 302 教室

出席者:大島巖(日本社会事業大学)、森田明美(東洋大学)、荒井浩道(駒沢大学)、高橋克徳(聖徳大学)、
田嶋英行(文京学院大学)、山田知子(大正大学)、贅川信幸(日本社会事業大学)

事務局:大山早紀子(日本社会事業大学)

敬称略、順不同

報告

1. 編集委員会の開催について(9月30日開催)

- ・編集委員会のあり方について:一度顔合わせをしたことで体制を整えられた。今後はメールベースで委員会運営を行う。
- ・編集委員・査読委員の体制について:若手の大学教員の関与が必要。
- ・編集委員会規定、編集規定、執筆要綱の見直し:現状に合わせて変更する
- ・査読プロセスの見直し
- ・研究大会・座長推薦論文

2. ホームページ担当

- ・毎日の閲覧数は40~70人くらい。昨年度よりは20人程度増えている。
- ・閲覧者数の増加は論文を検索する中でヒットしている可能性がある。

議事

1. 次回・関東部会研究大会(2012年3月10日土曜日開催予定)について

- 1) 大会テーマ:災害と社会福祉学—災害国日本における社会福祉学の位置—
 - 2) 記念講演: 東洋大学 古川孝順先生
『社会福祉学は東日本大震災をどう受け止めるのか』(仮)
 - 3) 大会シンポジウム:『災害国日本における社会福祉学—なにを追究し発信するのか』
 - ①被災地の貧困化をどう考えるのか: 首都大学東京/岡部卓氏
 - ②災害弱者への支援のあり方をめぐって: 立教大学/河東田博氏
 - ③被災地支援における子ども支援の実践から: 東洋大学/森田明美氏
 - ④被災地の視線で考える社会福祉学への期待: 岩手県立大学/都筑光一氏
- 【指定討論】阪神淡路大震災、東日本大震災の支援経験から: 法政大学/宮城孝氏
- 【コーディネーター】大正大学: 山田知子氏、日本社会事業大学: 大島巖
- 記念講演とシンポジウムは、録音して出版することも考慮する
- 4) 自由研究報告: 前回と同様の枠組みで、①研究報告部門 ②萌芽的研究報告部門 ③実践報告部門を設定して、募集をかける。運営委員や、会員の大学院教員などへ働き掛ける。
 - 5) 会場: 東洋大学。7月と同じ館の同じ会場の予定

2. 社会福祉学評論の編集・発行

- ・編集委員会の事務局長を運営委員の菱沼委員に依頼する。
- ・バックナンバーの電子ジャーナル化の著作権許諾手続き:菱沼委員が担当
- ・現在進めている、編集委員会規定、編集規定、執筆要綱の見直しが終わったら、ホームページへ掲載し、新しい形で投稿を募り、査読を進める。

3. ホームページの利用促進、バックナンバーの電子ジャーナル化

- ・メーリングリストと関連付けて、電子ジャーナル論文が掲載された時、最終講義、博士論文の公開審査などの情報が掲載された際に情報伝達する。
- ・国立情報科学研究所 CiNii へ登録(含、フルテキスト情報)し、アクセス数向上を図る

4. ニュースレターの発行について

- ・今年度も紙媒体でのニューズレターを発行する。
- ・1月20日発行を目処に、担当の月田委員と大島が相談しながら進める。

5. 研究奨励賞について

- ・次回研究大会への対応は難しい。継続的に議論を進める。
- ・他学会の取り組みを調査する。

6. 関東地域部会の運営委員、監事、その他の担当者について

- ・今年度・来年度の運営委員について、森田氏、大島が分担して確認をする。
- ・確認が取れたら、3月10日の総会時に承認を得る。

※今年度の運営委員会日程について

関東部会研究大会時(2012年3月10日土曜日)に行う

(記録:日本社会事業大学・大山早紀子(事務局)、大島巖)